

☆中学2年生の皆さんへ

◎今年度前半(9月末まで)の中2の図書館利用状況です。



LIBRARY USAGE REPORT FROM APRIL-SEPTEMBER 2025

2025年4月から9月 図書館利用報告【利用統計資料】

(1) 貸出冊数・貸出者実人数・貸出された本及び資料の内訳(学年毎)の統計(4月1日現在の在籍者数を示す)
(貸出冊数はデータベースに登録済みの本)

2025年度4~9月 ジャンルごとの貸出冊数と、各学年及び中・高・全学各合計貸出冊数全体に占める割合(%)を示す(9月30日現在の数値)

項目	学年	項目	学年	中1	中2	中3	中学合計	高1	高2	高3	高校合計	全校合計
				C1	C2	C3	Jr. High total	K1	K2	K3	Sr. High total	Grand total
Number of students		生徒人数		47	48	52	147	96	130	133	359	506
Number of borrowed books		貸出冊数		102	4	31	137	92	125	153	370	507
Number of borrowers		貸出者数		46	2	21	69	43	73	27	143	212
No. of borrowed books per student		生徒1人当たり貸出冊数		2.17	0.08	0.60	0.93	0.96	0.96	1.15	1.03	1.00
Borrower per amount of the class		貸出者率		97.9%	4.2%	40.4%	46.9%	44.8%	56.2%	20.3%	39.8%	41.9%

中学2年生の皆さんの図書館利用状況は、他の学年に比べて低調です。最近、利用者が数名増加しましたが……。既にお伝えしてきましたように、中学2年生の皆さんは、個人での図書館の利用は可能です。冬休みの間、是非読書してみましょ！

◎どんな本を読もうかな?と迷ったときには……

推薦図書リスト「先生方からおすすめする本」(←特におすすめ)「教科からおすすめする本」「中学卒業までに読んでおきたい本 最低ライン55冊」から探してみるのはいかがでしょうか。図書館入ってすぐの書架・ワゴンに展示していますので、是非選びに来てください。

他にも、「高校卒業までに挑戦しておきたい本 65冊」「現代文・小論文・志望理由書の対策及び進路学習/選択のための本」にも読める本はあります。「人権問題」のワゴンも人気です。選ぶ目安や、その他わからないことがあったら、図書館カウンターで遠慮なく尋ねてください。

🍀🍀🍀 図書館で今まで知らなかった本に出会いましょう 🍀🍀🍀

☆中学生にも読める本も意識して購入するようにしています。いかがでしょうか?



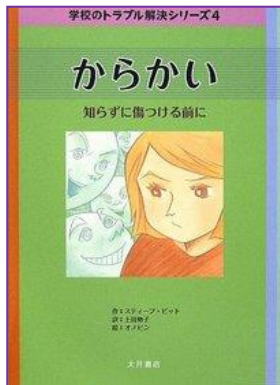
- ① **新着『山のバルナボ』** ディーノ・ブツァーティ 作 川端則子 訳 : 岩波少年文庫の新刊です。近年評価の高いイタリアの作家、ブツァーティの第一作です。他の作品も本校図書館に所蔵しています。
- ② **『絵はすぐに上手にならない デッサン・トレーニングの思考法』** 成富ミヨリ 著 彩流社 : 絵を描く能力とは? 能力の種類、ジャンル毎に必要な力、自己判断・診断法、トレーニング法を具体的に示す。
- ③ **新着『知識ゼロからの戦争史入門』** 祝田秀全 著 幻冬舎 : 戦争をなくすには? まず戦争について知ろう。
- ④ **『14歳から考えたい ナチ・ドイツ』** ジェーン・キャプラン 著 藤井美佐子 訳 熊野直樹 監修 すばる舎
ヒトラーがナチ党を創設し、独裁政権を樹立して多くの犠牲者を出すに至った背景、過程、手法などを理解するための入門書。本校図書館でも人気のオックスフォード大学出版局「ベリー・ショート・イントロダクション」シリーズの一冊です。他に「優生学」「レイシズム」「貧困」についてのものを所蔵しています。「暴力」は遅くとも冬休み明けには配備予定です。誤った考えを持つ前に読んでほしいシリーズです。



☆全校生徒の皆さんへ

からかい、変なあだ名をつける、SNS をも使用した中傷など、いじめにつながることは、一切してはいけません！！

◎「いじめ」とは？ 被害者が「いじめられた」と感じたら、その加害行動は「いじめ」です。
「からかっただけ」「ただのいじりだから」という言い訳は無効です。「いじめられた」という訴えがあれば、その件は「いじめ重大事態」として扱われます。



特に「からかい」について、「からかう」とはどのような言動を指すのか、からかわれた人がどのような気持ちになるのか、からかわれた際の対処法などを解り易く書いている本を購入しましたので、是非読んでみてください。そして、全校生徒みんなで、からかひやいじり、中傷など、それ自体いじめであること、その他いじめにつながることを無くし、安心・安全な学校づくりに取り組みましょう!!

←①『からかい 知らずに傷つける前に』 スティーブ・ピット 作 上田勢子 訳
オノビン 絵 大月書店

☆高校1年生の皆さんの貸出利用者数(12月17日現在(9月から増えていません))

貸出利用者 実人数 A組:4人 B組:26人 C組:13人

読書で得た考え方、知識など様々な事柄によって、論理的思考力が鍛えられ、文化的な知識の量も増やすことになります。

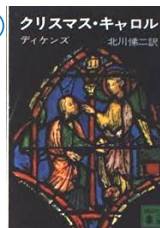
その結果、学力のベースを作ることもでき、教養も身につけ、より思慮深くなることも可能になります。冬休みに読書して自分自身の能力を伸ばしましょう!!



頑張って!

◎図書館の貸出利用がまだの人は、必ず一人一冊は借りて読書しましょう!!

☆最近の新书推荐 & 「クリスマス物語」の本(⑥・⑦)



②新着『対訳・注解 不思議の国のアリス』 ルイス・キャロル著 安井泉 訳・注 研究社 : 英語で味わおう!

③新着『図説 ドイツの歴史』 石田勇治編著 河出書房新社 ふくろうの本: 豊富な図・写真で楽しめます。このシリーズの『オーストリアの歴史』『チェコとスロヴァキアの歴史』『神聖ローマ帝国』も新着です。

④新着『地球から月へ 月を回って 上も下もなく』 ジュール・ヴェルヌ著 石橋正孝訳・解説 インスクリプト いわゆる「ガン・クラブ三部作」の完訳を合本にしたもの。エッツェル版の全挿絵も収録する。

⑤新着『ミーチャの恋・日射病』 イワン・ブーニン作 高橋知之訳 岩波文庫赤 649-1: ロシア革命によりパリに亡命したブーニン(1933年ノーベル文学賞受賞者)の最後の短編集。

⑥『クリスマス・キャロル』 デイクンズ著 北川悌二訳 講談社文庫: まだの人は是非どうぞ!! 楽しく読めます。本校図書館には、この作品の文庫本が複数冊ありますし、英語(原作)の美麗本もあります。

⑦『飛ぶ教室』 エーリヒ・ケストナー著 高橋健二訳 岩波書店 など: ドイツのギムナジウム(当時はおよそ11歳から19歳くらいまでの生徒が学ぶ)を舞台に、個性豊かな登場人物たちが繰り広げる成長物語。



☆全校生徒の皆さんへ

自分の書いた文章の語句の定義は正しい? & 取り上げた事物の事実確認を!

◎自分の意見・主張は、必ず事実を基(もと)に展開しよう!

皆さんは、教科学習やクラブ活動などで、レポートや小論文などの文章を作成したり、ポスターや映像などで発信したりすることがよくありますね。それらの発信物を作る際に、その中で触れていることが正しいかどうか、確認を必ず行っていますか?

特に、大学入試の志望理由書や小論文の作成の際に、「語の定義の正確さ」「文章中で取り上げた事物が事実であること」は、文章の内容を左右し、合否を分かちつとも大切なことなのです。なぜなら、そもそも学術は事実に基づいて行うものであり、それが大学で一番大切にされていることだからです。書く内容を考える時に、事実確認を行いながら進めていくようにしましょう。くれぐれも、事実誤認の部分を残したまま大学に提出したりしないように!! (第1志望の学部にも不合格となったケースが複数あります。)

事実確認の際に使用するのは、書籍が一番確実です。インターネットで利用できるのは、官公庁の公式なサイトのデータや記述などになります。いずれの場合も、原典そのものを確認して引用するようにし、他の著作物を介したいいわゆる「孫引き」は避けましょう。

事実確認のための書籍を探す際は、各教科の先生に参照すべき書籍を質問するか、図書館で問い合わせてください。必要な書籍が図書館に無い場合は、購入するようにします。図書館にて相談してください。



☆全校生徒の皆さんへ その2

自分の将来に役立つ本格的な読書は、いつから始めたらいいの?

◎自分の読む力に比べて少しだけ難しいもの、未知の事柄について書いてあるものに挑戦し続けよう!!

中学生:幅広いジャンルの本に、楽しみながら挑戦していこう!好きなジャンルが見つかったら、より深く追究してみよう。自分自身を成長させようという気持ちを大切に。

高校1年生:今すぐ読書のレベルアップに取り組みましょう。高2の夏以降は、大学入試の受験勉強が始まっているはず。今の内にじっくり読んでみましょう!

高校2年生:今が、大学進学に向けて読書を開始する最後のチャンス。リミットはもう過ぎています。

高校3年生:学力を鍛えると共に、時間を作って読書もしたいところ。自分に不足している知識や思考力の分野に絞って取り組んでみよう! 外国語・外国文化関連の学部に進む人は、その言語の文学作品を必ず複数読んでおきましょう。大学入学後に通用する読書力と基本的な考え方を既に身につけていることが、合格への確実な鍵です。

☆全校生徒の皆さんへ その3:最近、返却本の汚損が目立って増えてきました

◎貸出本を持ち運ぶ際には、汚れを防ぐため、ビニールの袋に入れましょう。

比較的雨の多い時期になっています。図書館で本を借りた人には、ビニール袋を渡すことを試行しています。(ビニール袋の形態は指定できません。)ビニール袋は破れるまでリユースしていただき、破損すればまたお渡しします。どうぞご協力ください。

◎貸出本が汚れたり、濡れたり、破れたりした場合は、必ず返却時に申し出てください。申し出が無くても、後で汚損が判れば、呼び出しますので状況を説明してください。

破損の場合、図書専用の資材で修理しますので、家のテープなどは使用せずにそのまま図書館に持ってきてください。

今月、表紙の付け根が半分以上断裂した状態になった本が無言で返却されました。その他、大きな汚れや燃れが発生したものなど、貸出前の姿から大きく変貌したものが返却されています。いずれも、まだ新しい図書です。図書館の本は、全校の皆のものです。貸出本の使用・保管にじゅうぶん注意して、必要以上に汚さないようにしましょう。

☆高校1年生の皆さんの貸出利用状況(9月19日現在)

貸出利用者 実人数 A組:4人 B組:26人 C組:13人
なるべく早いうちに、いろいろな本を読む力をつけましょう!!



◎図書館の貸出利用がまだの人は、必ず一人一冊は借りて読書しましょう!!

☆最近の新作本から 芸術・社会問題・きれいな石(地学)・物語:是非どうぞ!



- ①『チェンニー・チェンニーニ 絵画術の書』 チェンニーニ著 辻茂編訳 石原靖夫・望月一史訳
岩波文庫 青 588-1:一つの章が数行から数ページの長さなので読み易いです。文中に示された参考文献、巻末の用語解説・色名表などによって、チェンニーニの画法やルネッサンス直前の頃の絵画についてより深く知ることができます。
- ②『日本人拉致』 蓮池薫著 岩波新書:北朝鮮による拉致の被害者が、拉致の実態と背景を語る。
- ③『ガチャコン電車血風録 地方ローカル鉄道再生の物語』 土居勉著 岩波ジュニア新書 995
- ④『ポスト構造主義フェミニズムとは何だったのか』 吉川直子著 学術選書 119 京都大学学術出版会:いわゆる「心の性別」「ジェンダー」などについて考える前に必ず読むべき本。これまでの様々な議論を明晰に位置づけて問題点を明らかにし、有意義な思考の展開を促す。
- ⑤『ひとりで探せる川原や海辺のきれいな石の図鑑』シリーズ 柴山元彦著 創元社:人気シリーズの、1の改訂版と3が出ました。写真が改善され、現地での石の見分け方も解り易くなりました。
- ⑥『ゴーレム』 グスタフ・マイリンク著 今村孝訳 白水Uブックス:ゴーレム伝説を基に、人間性の深淵に踏み込む幻想小説。マイリンク独自の構想と卓越した叙述の妙を味わってみましょう!!

図書館便り

2025年7月号

アサンプション国際中学校高等学校図書館(文責:島田雪子(司書教諭))

☆お知らせ:夏休み長期貸出・夏休み開館日程

- ◎夏休み長期貸出受付中: 6冊まで 返却期限日: 8月25日(月)
- ◎夏休み開館: 7月28日(月)~8月1日(金)、4日(月)~7日(木)、20日(水)~22日(金) 開館時間: 9:00~16:00 ※8月22日(金)は12時~16時

☆読書感想文課題図書 貸出期間は2週間です(延長不可)

◎一人でも多くの方が利用できるよう、ご協力ください。

【中学生】①



②



③



【高校生】④



⑤



⑥



- ①『わたしは食べるのが下手』 天川栄人著 小峰書店
- ②『スラムに水は流れない』 ヴァルシヤ・バジャージ著 村上利佳訳 あすなろ書房
- ③『鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者』 竹内紘子著 くもん出版
- ④『銀河の図書室』 名取佐和子著 実業之日本社
- ⑤『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ著 山田文 訳 作品社
- ⑥『「コーダ」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて』 五十嵐大著 紀伊国屋書店

☆今年度の図書館ガイダンスで聞いた、社会科の先生の名言

『本なんかつまらない』というのは、その人自身がつまらない人だからだ

(或る)本の面白さが解るためには、読み手自身に素養が必要である、ということなのです。その素養があれば、読書に限らず色々なことに面白みを見出すことができ、人間性豊かに成長していくことができます。素養を高めるためには、普段の学びを大切にすることが近道です。教科の学習を頑張る・読書に挑戦してみる・クラブなどの活動に丁寧に取り組む、など、すぐできることがたくさんあります。行動あるのみ!!



☆高校1年生の皆さん、図書館の本で読書をステップアップしましょう!

◎図書館の貸出利用がまだの方は、必ず一人一冊は借りて読書しましょう!!

読書は、理系文系を問わず、学力の礎(いしずえ)です。そればかりではなく、心豊かな生活を送るためにも必要です。読書によって得られた知識、ものの考え方・見方、視野の広がりによって、周りの世界で起きていることの意味がより良く理解できるようになり、面白いことも楽しみもたくさん見つかるようになります。

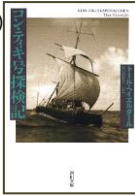
中高生の皆さんにとって、読書に取り組むときに肝心なことは、より質の高い本を選んでステップアップしていくことです。そうすることによって、より興味深い世界に出会うことができます。是非、図書館に本を選びに来てください。わからないことがあったら、図書館担当者に何でも聞いてください。



☆新着本など(紹介・お問い合わせのあった本を含む) 新着本の棚・入口正面白いワゴン

◎お問い合わせのあった本と、その関連本

⑦



新着 『コン・ティキ号探検記』 トール・ヘイエルダール著 水口志計夫訳 河出文庫
有史以前にも南米からポリネシアまでの航海が可能であったことを証明すべく、筏を建造して航海することを計画し、実行した顛末の手記。航海に出るまでの経過も面白く読める。完訳版で是非どうぞ。

↓コン・ティキ号乗組員クヌート・ハウグランドが戦時中に関わった作戦のノン・フィクション

⑧



『ヒトラーの原爆開発を阻止せよ! “冬の要塞”ヴェルモク重水工場破壊工作』
ニール・バスコム著 西川美樹訳 亜紀書房
「重水」とは、水素の同位体である重水素を含む水で、原子爆弾を開発するために必要な素材であった。この重水を世界でただ一つ商業生産するノルウェーのノシュク・ヒドロ(ヒュドロ)社はナチスの支配下となった。ノルウェーのレジスタンス組織による工場破壊・重水輸送阻止工作のドキュメント。

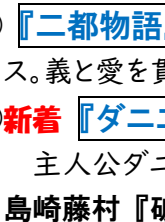
◎「面白い」というおすすめの声のあった本、貸出が複数あった本の関連本など

⑨



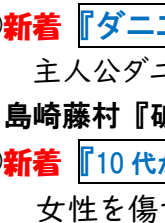
⑨新着 『武器を持たないチョウの戦い方 ライバルの见えない世界で』 竹内剛著 京都大学学術出版会: 縄張り争いと思われていたチョウの行動の真相は? 通説を覆す学説を実証した過程を解り易く描く。研究の進め方や論の方向性の検討についても示唆に富んだ内容です。

⑩



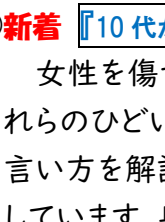
⑩ 『二都物語』 チャールズ・ディケンズ著 新潮文庫: フランス革命を背景に繰りひろげられるロマンス。義と愛を貫こうとする主人公たちの運命を読んでみましょう。(推薦図書)

⑪



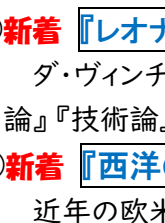
⑪新着 『ダニエル・デロンダ』(上)(下) ジョージ・エリオット著 藤田繁訳・解説 彩流社
主人公ダニエルと女主人公グウェンドレンが、それぞれの運命の中で生き方を求めてゆく物語。島崎藤村『破戒』はこのダニエルの部分の翻案小説と言える。

⑫



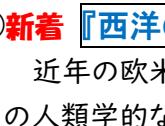
⑫新着 『10代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」』 森山至貴 著 WAVE 出版
女性を傷つけ、自由な言動を制限して支配するずるい言葉。実際には、男女問わずこれらのひどい言葉を女性に対して浴びせています。事例を基に、男性たる著者が七つの言い方を解説し、それぞれについて「抜け出すための考え方、関連用語、参考図書」を示しています。身近な他者を尊重するために、男女共に読んでいただきたい本です。

⑬



⑬新着 『レオナルド・ダ・ヴィンチの手記』(上)(下) 杉浦明平 訳 岩波文庫 青 550-1・2
ダ・ヴィンチの残した膨大なノートから、上巻に『絵画論』『人生論』『文学論』、下巻に『科学論』『技術論』、手紙、メモを収める。

⑭



⑭新着 『西洋の敗北 日本と世界に何が起きるのか』 エマニュエル・トッド著 大野舞訳 文藝春秋
近年の欧米各国・地域の動向について、人間関係の在り方や宗教などの文化的特徴についての人類的な見識を基に読み解き、それらの真相を述べる。高校生からのリクエスト本。